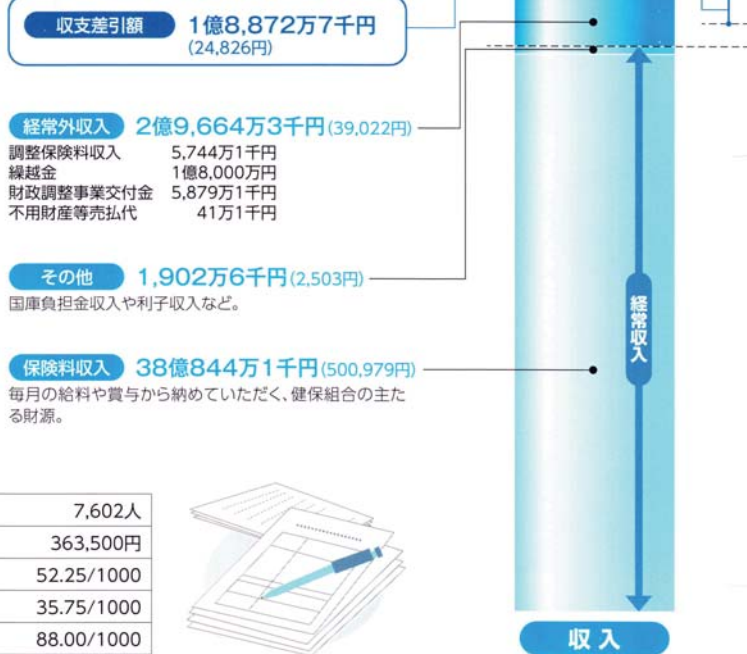


※()内は1人あたり額。

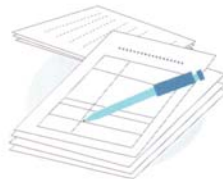
収入	41億2,411万円(542,503円)	経常収入	38億2,746万7千円(503,482円)
支出	39億3,538万3千円(517,677円)	経常支出	38億6,586万6千円(508,533円)
差引額	1億8,872万7千円(24,826円)	差引額	▲3,839万9千円(▲5,051円)

納付金負担増により 経常赤字3,839万9千円 となりました



決算基礎数値

被保険者数	7,602人
平均標準報酬月額	363,500円
保険料率	
事業主	52.25/1000
被保険者	35.75/1000
合計	88.00/1000



平成25年度決算●介護保険

決算基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	3,692人
平均標準報酬月額	411,764円
保険料率	
事業主	6.8/1000
被保険者	6.8/1000
合計	13.6/1000

収入	
介護保険収入	3億3,419万7千円
合計	3億3,419万7千円
支出	
介護納付金	3億1,921万5千円
介護保険料還付金	6万3千円
合計	3億1,927万8千円

収支差引額 1,491万9千円

決算残金は、すべて法定準備金に積み立てました。

決算のポイント

母体企業の業績好調により増収

保険料収入は、母体企業の好調な業績を背景に、被保険者数や平均標準報酬月額などが前年度を上回ったため、前年度比約1億4,000万円の増収となりました。

納付金負担が著しく増加

保険給付費は、被保険者数の増加、さらに被保険者1人あたりでも前年度比約5,300円増となったため、総額で前年度比約9,400万円の増加となりました。

65〜74歳の医療費の財源となる前期高齢者納付金の増加が著しく、前年度比約2億1,000万円の増加、納付金全体では約2億7,000万円の増加となりました。

3年ぶりの経常赤字

保険料は増収したものの、保険給付費や納付金の増加により、経常収支で3,840万円の赤字となりました。経常赤字が生じたのは3年ぶりです。

なお、総収支差引では1億8,870万円の残金が生じたため、翌年度への繰り越しや積立金に積み立てるなどして処分しました。

納付金負担はさらに増加の見通し

今後、高齢化の進展や医療技術の高度化によって医療費は増加し、とりわけ健保財政にとって納付金負担はより重くなるものと予測されます。

当組合では、財政の健全化を図るため、これまで以上に慎重な事業運営に努めてまいります。

健康保険組合の事業について、引き続き、みなさんのご理解とご協力をお願いします。